

<教育目標>

あたたかい心 ゆたかな知性 たくましい身体

平成 30 年 5 月 31 日発行

No. 4 校長 矢口 仁



## 高き希望に（第五中学校だより）

気持ちを合わせて — バトン・パスの大切さ —

校長 矢口 仁

イキイキ はつらつ

感動いっぱい いのちいっぱい 相田 みつを

紫陽花が美しい季節となりました。土曜日が運動会。だんだんと色別・クラスの団結が強くなり、練習・応援の声が大きくなっています。本番では練習の成果を出し切り、全員で「前人未到の世界へ」行けることを望みます。精一杯、躍動しましょう！



さて、私が見た昨年見た関東インカレ「陸上競技」のことです。大学の女子陸上では、筑波大が圧倒的に強く、昨年までなんと 24 連覇を達成していました。しかし、昨年の大会では、25 連覇がかかった最終種目「マイルリレー」（400m×4）の決勝で意外な展開がありました。

この「マイルリレー」が始まる前までは、筑波大が総合得点で日体大を 2 点リードしていました。リレーでの優勝は 8 点、以下 1 点刻みで得点が下がります。筑波大学は 2 位以内に入れば優勝となります。今年もまた優勝かと思われました。リレーが始まり、最終走者まで接戦が続きました。最終的には、日体大が 1 位、筑波大は 3 位となりました。総合得点は同点です。結局、上位入賞者の数が多いチームが優勝というルールによって、日体大が総合優勝となり、筑波大学の 25 連覇を阻んだのでした。

マイルリレーは、一人が 400m を走る過酷なレースです。400（100×4）m リレーでは、バトンの受け渡しの微妙なタイミングが結果に大きく影響します。（佐藤多佳子著『一瞬の風になれ』では、バトンを渡す選手、受ける選手の微妙な心理が描かれた面白い陸上小説です。読後感がさわやかですので、中学生にお薦めの本です。）

しかし、マイルリレーでは、走者にとって最後の 50m は体力の限界に近く、次の走者が早く出過ぎてしまうとバトンがうまく渡りません。前の走者のことを考えながら、じっくりと待って、しっかりとバトンを受け取ることが重要になります。

運動会の種目の一つに『全員リレー』があります。男子から女子、女子から男子、走るのが得意な生徒から不得手な生徒へ……皆同じタイミングではバトンはうまくつながりません。テイクオーバーゾーンを有効に使えるようお互いが考え、声をかけ合い、相手を思いやる気持ちをもって、バトンを受け渡すことが必要です。他にも、相手と協力しなくては、うまく進まない種目があるのが「運動会」です。お互いの気持ちを考えながら、助け合い、励まし合っの「運動会」を期待しています。